



ふねあいのひろば

第35号



欧州文化首都 2019 モニュメント前にて

ごあいさつ

会員の皆様におかれましては、平素より当協議会の活動に格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、巻末にもお知らせしてまいりましたとおり、岡山・サンノゼ交流の礎を築かれ、私個人としても交流が深かったウェード・ホーバー氏がご逝去されました。故人との思い出を懐かしむ中で、改めて国際交流に携われた先人たちのご功績に思いを巡らせる年となりました。

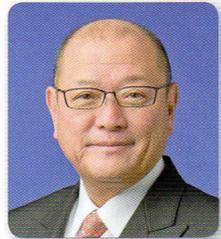
さて、当協議会の活動としては、欧州文化首都2019の開催地に選ばれたプロヴディフ市より招聘を受け、11月に岡山市民文化交流団が派遣されました。プロヴディフ市では市長・議長表敬訪問や、市民グループによる尺八、箏、鼓の伝統楽器の演奏、うらじゃ踊りの演舞などを行い、市民、行政が一体となって両市の友好の絆を一層深めてまいりました。

また、11月には洛陽市人民政府訪問団の受入れを行い、私も歓迎夕食会に参加し、大いに交流を深めました。これに先立つ10月には、岡山市産業観光局長が洛陽市で開催された第2回世界古都フォーラムに招聘され、日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまちおかやま」について発表し、岡山をPRされたこと何となくです。

さらに、隔年実施の子ども海外派遣事業では、過去最多となるサンノゼ市、プロヴディフ市、洛陽市、富川市、新竹市、グアム準州の6都市・地域に46名の中学生を派遣しました。生徒たちは、ホームステイや交流プログラムでの現地の方々とのふれあいを通じて、異文化への関心と国際理解を深めてまいりました。

近年、岡山市に暮らす外国人市民の方々が急増しており、昨年4月に改正された出入国管理法の影響もあって、今後もさらなる増加が予想されます。昨年は、災害時の対応について岡山県国際交流協会と連携体制を確認するとともに、共催事業として訓練や研修会も実施しました。令和2年度には、ゴミ出しや交通ルールなど生活に密着した内容について外国人市民の方々が学べる講座を新たに開催する予定としており、引き続き多文化共生のまちづくりを進めてまいります。

国際交流事業では、友好協定締結10周年を記念してグアム準州から公式訪問団を受入れるなど、さまざまな事業を予定しておりますので、今後とも皆様方より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



会長 松田 久

●「岡山市民文化交流団」のプロヴディフ市訪問（11月14日～20日）

大森雅夫岡山市長、松田安義岡山市議会副議長をはじめとする総勢34名の岡山市民文化交流団がブルガリア共和国プロヴディフ市を訪問しました。

今回の訪問は、欧州文化首都2019の開催地に選ばれたプロヴディフ市より招聘を受け、文化団の出演を要請されたものです。プロヴディフ市では、市長・議長を表敬訪問したほか、欧州文化首都イベントのステージや現地の高校生

の前で市民グループの方々が和装して、尺八、箏、鼓の伝統楽器を演奏し、うらじゃ踊りを演舞しました。多くのプロヴディフ市民の方々と一緒に日本の伝統音楽を楽しみながら手を取り合って踊ることで、言葉の壁を越えた心の通じ合う交流ができました。



岡山市が1992年に寄贈した桃太郎像前にて



市長表敬訪問



文化ホールでの演奏①



文化ホールでの演奏②



文化ホールでの演舞



イヴァン・ヴァゾフ高校での楽器体験



イヴァン・ヴァゾフ高校での交流



メインストリートでの演舞



メインストリートでの演奏

●「洛陽市宗教局訪日団」の来訪（5月5日）

岡山市日中友好協会の招聘を受け、王青春^{おうせいしゆん}洛陽市宗教局長を団長とし、白馬寺の印楽住職^{いはくぼし いんらくじゆうしやく}一行6人の洛陽市宗教局訪日団が岡山市を来訪しました。岡山長泉寺^{ちようせんじ}と仏教文化交流を行うとともに、岡山市日中友好協会の皆さんや田淵岡山市市民協働局長と会談するなど、交流を深めました。



白馬寺の印楽住職とのあいさつ



訪日団との集合写真



宗教局長から記念品を贈呈

●「第2回世界古都フォーラム」へ参加のため洛陽市訪問（10月18日～21日）

洛陽市から「第2回世界古都フォーラム」への招聘を受け、赤坂岡山市産業観光局長他3名が洛陽市を訪問しました。フォーラムでは日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」について発表し、会議参加者を魅了しました。



二里头夏都遺跡博物館 開館式



分科会での岡山市の発表



分科会会場の様子

●「洛陽市人民政府訪問団」の来訪（11月5日～6日）

趙会生^{ちようかいせい}洛陽市人民政府副市長を団長とする洛陽市人民政府訪問団一行6名が岡山市を来訪しました。岡山市長への表敬訪問や歓迎夕食会、岡山芸術交流2019、岡山城、後樂園の視察などを通じて、両市の友情を深めました。



歓迎夕食会



市長表敬訪問



岡山城視察

●洛陽市へ支援物資を送りました（2月6日）

新型コロナウイルスの感染拡大防止を支援するため、激励のメッセージを添えて、医療用マスク2万枚を洛陽市へ送付しました。
「中国加油！洛陽加油！岡山市民支持你们!!!」
（中国頑張れ！洛陽頑張れ！岡山市民は応援しています!!!）



マスク発送の様子



事前説明会の様子



子ども海外派遣事業



岡山市子ども海外派遣は、岡山市内の中学生を海外に派遣し、ホームステイなどを行い、海外の家族や子どもたちとのふれあいを通して、子どもたちの国際的視野を広めるとともに、多様な文化への理解と国際交流を図る事業です。

昨年は、サンノゼ市（米国）、プロヴディフ市（ブルガリア）、洛陽市（中国）、富川市（韓国）、新竹市（台湾）、グアム準州（米国）の国際友好交流都市・地域へ中学生を派遣しました。

派遣前の2回の事前説明会では、現地で話す言語や文化を学ぶだけでなく、日本や岡山市の魅力伝える出し物の練習をしました。派遣先では、一般家庭でのホームステイを体験したほか、文化体験や市内視察をはじめとする各種プログラムを通じ、異文化への理解を深め、将来につながる交流の輪を作ることができました。また、派遣後には、派遣時に体験したことを作文とレポートにまとめました。

今回の派遣先は、過去最多の6都市・地域となり、また、派遣者数は46名で、平成16年度の48名に次いで2番目の規模となりました。

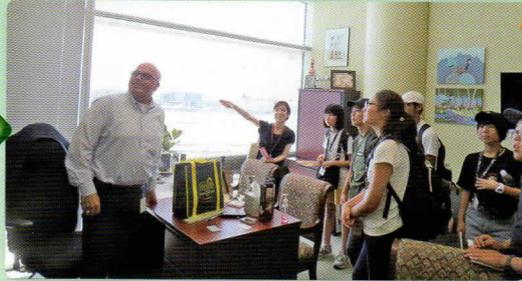


結団式

サンノゼ市

7月29日～8月6日

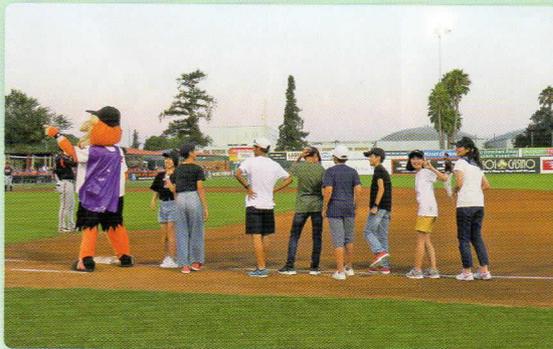
派遣人数
8名



サンノゼ市庁舎見学



サンノゼ美術館



サンノゼジャイアンツ野球観戦



現地の市民との交流



岡山市寄贈の桃太郎像前にて記念撮影

プロヴディフ市

7月29日～8月7日

派遣人数
8名



伝統工芸絵付け体験



伝統衣装体験



青少年センターでの交流